



▲市議会HP



▲録画配信
(12月10日一般質問)

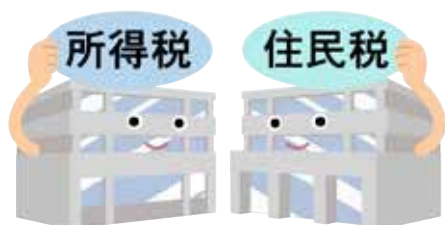


中川幸廣 議員 (白和)

「年収103万円の壁」 税込減への対応は 答弁…国の動向を注視していく

問 現在、国会で議論されている年収103万円の壁。当市においては、この問題でどのくらいの減収になるのか。また、この減収への対応はどのようにするのか伺う。

答 所得税がかからない非課税枠を103万円から178万円に引き上げた場合、個人市民税において概算で11億円程度の減収見込みである。税込の減収に伴い、行政サービスの提供に影響を及ぼす可能性が懸念されることから、引き続き、国の動向を注視していく。



都市計画道路白岡駅西口線 整備の進捗は

答弁…一日も早い開通を目指し整備していく

問 このところ白岡八幡神社鳥居付近の樹木が伐採され、更に土が掘り下げられている。これは、都市計画道路白岡駅西口線の延伸工事なのか。また、都市計画道路白岡駅西口線のウエルシア白岡店からさいたま栗橋線までの整備の進捗状況を伺う。

答 白岡八幡神社鳥居脇付近の樹木は、土地売買の契約が整い、工事等に支障となる立木の処分を行っている。ウエルシア白岡店から白岡八幡神社鳥居付近までの道路整備を実施してきた。引き続き、さいたま栗橋線までの区間の早期開通を目指し推進していく。



黒須大一郎 議員 (白和)

まちのにぎわいをつくるために 答弁…意見交換を前向きに検討する



▲録画配信
(12月10日一般質問)

問 にぎわいとは何か。白岡駅西口と東口をテーマに市民と考える機会をつくり、まちのにぎわいをつくるプロジェクトを進めるべき。

今、市内商業は、にぎわいとは真逆だ。速やかにプレミアム商品券事業を前回実施時と同等以上の規模・内容で行うべきでは。

答 まちのにぎわいとは、地域が活気に満ち、人が集まり、さまざまな活動や交流が盛んに行われている状況と考える。そうしたまちのにぎわいづくりについて、商工業関係者を含めた地域の皆さんと忌憚のない意見交換を行うことを前向きに検討する。



白岡駅西口広場のパース図

公金 10億円が塩漬け状態に

答弁…公金は適正な管理に努めている

問 これまでの資料等と今回の答弁で市の基金10億円が超長期国債の購入で、この先10年以上元本割れをするために塩漬け状態になっている。本件の要因の一つは市長決裁で公金の管理運用を定めた市資金管理運用ポリシーにあると考える。早急に見直しを。

答 市の公金である資金の構成は安全性・流動性・効率性の確保が図られている。なお、債券は満期まで保有する方針で塩漬けに当たらない。市資金管理運用ポリシーは制定後5年が経過しており、金融環境の変化や市の現状等を踏まえ必要に応じて見直しを検討する。